



# ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド

《月次レポート》

愛称:世界のこだわり  
追加型投信/内外/株式

販売用資料

2010年7月30日現在

## ファンドの特徴

主に、世界のプレステージ&ラグジュアリー・ブランド企業※の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

※プレステージ&ラグジュアリー・ブランド企業とは、世界的に伝統がある高級ブランド商品およびサービスを提供する企業と、通常より高い価格でも購入することをいとわないワンランク・アップの商品サービスを提供する企業を言います。

◆当ファンドの運用はファミリー・ファンド方式(ING・プレステージ&ラグジュアリー・マザーファンドを買付ける方式)を採用しています。

◆当ファンドの具体的なポートフォリオ等につきましては、マザーファンドの情報を開示しています。(該当箇所は◎で示します。)

◆銘柄選定および運用にあたっては、アイエヌジー・グループによる徹底した調査・分析と、ファンドマネジャーの企業訪問を通じた独自の企業価値分析に基づいてポートフォリオを構築します。



## 基準価額・純資産総額

基準価額	6,488 円
純資産総額	7.6億円
既払分配金	1,000 円

## 基準価額の騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	5.4%	-10.5%	17.6%	-37.1%	-29.2%

\*基準価額は税金控除前、分配金再投資後を使用しています。

## 資産構成比◎

	資産名	比率
1	株式	95.1%
2	現金等	4.9%

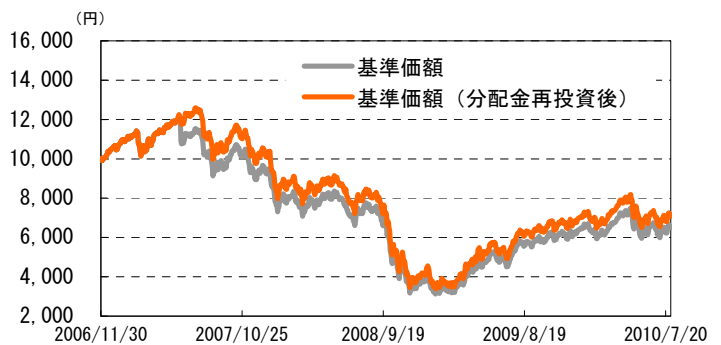
## 主な基準価額の変動要因

当月末の基準価額は、前月末比+334円の6,488円となりました。株価の変動による要因が+225円、為替による要因が+117円、信託報酬その他で-8円となりました。

## 直近分配金実績(1万口あたり課税前)

決算期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期
	07年12月	08年6月	08年12月	09年6月	09年12月	10年6月
分配金(円)	0	0	0	0	0	0
基準価額(円)	9,509	8,093	3,406	5,258	6,355	6,164

## 基準価額の推移



\*基準価額は、信託報酬(純資産総額の年率1.575%(税抜1.5%))等控除後。基準価額(分配金再投資後)は課税前分配金を再投資したと仮定した場合の評価額を表します。手数料は考慮していません。

## 組入れ上位10銘柄◎

組入銘柄数 26 銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率	概要
1	モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン	フランス	耐久消費財・アパレル	8.2%	ルイ・ヴィトン、クリスチャン ディオール、ジバンシイ等の高級ブランドを取り扱うコングロマリット。香水、宝石類、オートクチュールも製造
2	ルクソティカ・グループ	イタリア	耐久消費財・アパレル	6.8%	高級眼鏡フレームとサングラスの設計、製造、販売に従事。自社ブランドの他にライセンス・ブランドで製造
3	スウォッチ・グループ	スイス	耐久消費財・アパレル	6.0%	腕時計、時計部品、宝飾品などを製造。スウォッチをはじめ、オメガ、ラドーなどの時計ブランドを保有
4	フィナンシェール・リシュモン	スイス	耐久消費財・アパレル	5.3%	フィナンシェール・リシュモンは持株会社。子会社を通じて、カルティエ等の高級な宝石類、腕時計等の製造販売を手掛ける
5	資生堂	日本	家庭用品・パーソナル用品	5.3%	日本国内第1位の化粧品メーカー。グローバルなブランド戦略を展開。中国をはじめとするアジア地域への事業拡大の取組みを強化
6	ディアジオ	イギリス	食品・飲料・タバコ	5.1%	アルコール飲料の製造、蒸留、販売会社。スミフ、J&B、ジョニー・ウォーカーなどの高級アルコール飲料ブランドを保有
7	エスティ ローダー	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	5.0%	スキンケア、香水、ヘアケア製品等を手掛ける化粧品メーカー。エスティローダー、クリニク、ボビー・ブラウンなどのブランドを展開
8	コーチ	アメリカ	耐久消費財・アパレル	4.9%	革製品のデザイン、製造、販売会社。主な製品はカバン、ビジネスバッグ、アクセサリー等
9	PPR	フランス	小売	4.6%	小売販売会社。消費者製品や家庭用品、スポーツ用品、高級品等を販売する
10	ペルノ・リカール	フランス	食品・飲料・タバコ	4.5%	ワインおよびリキュール・メーカー。リカール、バランタイン、シーバス・リーガルブランドなどを傘下にもつ



# ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド

《月次レポート》

愛称:世界のこだわり  
追加型投信/内外/株式

販売用資料

2010年7月30日現在

## 株式の国別組入状況◎

	国名	比率
1	アメリカ	24.5%
2	フランス	22.9%
3	スイス	16.5%
4	イタリア	8.5%
5	イギリス	6.3%
6	香港	5.8%
7	ドイツ	5.3%
8	日本	5.3%
9		
10		
	合計	95.1%

## 株式の通貨別組入状況◎

	通貨	比率
1	ユーロ	36.8%
2	米ドル	24.5%
3	スイスフラン	14.2%
4	英ポンド	6.3%
5	香港ドル	5.8%
6	日本円	5.3%
7	ブラジルレアル	2.3%
8		
9		
10		
	合計	95.1%

## 株式の産業別組入状況◎

	業種名	比率
1	耐久消費財・アパレル	40.9%
2	小売	15.5%
3	食品・飲料・タバコ	12.8%
4	家庭用品・パーソナル用品	10.3%
5	消費者サービス	10.2%
6	自動車・自動車部品	5.3%
7		
8		
9		
10		
		95.1%

## 当月のマーケット環境

7月の世界の株式市場は、欧州の財政懸念が和らいだことや好調な米国企業業績の発表を受けて上昇しました。米国のダウ工業株30種平均(NYダウ)は6.0%、英FT100指数は8.1%、独DAX指数は3.1%の上昇となりました。代表的な消費関連株式指数であるMSCI一般消費財・サービス指数(現地通貨ベース、配当込み、税控除後)は4.9%の上昇となりました。外国為替市場でドルは円に対して2.0%の下落(円高ドル安)となる一方、ユーロは前月までの下落から反転して5.0%上昇(円安ユーロ高)となりました。

米国株式市場は上昇しました。上旬は、経済指標が弱い内容となったことから弱含みで始まりしました。その後は、金融機関の決算が概ね良好な結果となったことや、直近週の新規失業保険申請件数が市場予想を下回ったことから雇用情勢の悪化懸念が後退し、市場は上昇しました。中旬にはFOMC(米連邦公開市場委員会)で経済見通しが下方修正されたことなどが嫌気され、市場は上値の重い展開となりました。しかし、主要企業の決算発表が総じて好調な数字となり世界経済に対する懸念も後退したことから、月末にかけて堅調に推移しました。

欧州株式市場も上昇しました。月前半は、米経済指標が弱い数字となる中、景気の先行きに対する懸念から売りが膨らみました。その後は、欧州の金融機関を対象とした資産査定(ストレステスト)の結果は予想されたほど厳しい結果にはならないとの観測が広がったことから金融関連銘柄が買われ、反発しました。月後半は、金融機関に対して資本規制が強化されるとの観測などが嫌気される場面が見られたものの、欧州金融機関へのストレステストの結果が公表され、過度の信用不安が和らいだことから市場は上昇しました。  
※各指数の騰落率は基準価額に対応した期間にて計算

## 当月の運用状況

当ファンドが投資するプレステージ&ラグジュアリー・ブランド企業の株価は、概ね前月末比でプラスとなりました。中国の消費者の高級品志向の高まりによる需要の回復を背景とした好調な業績見通しが好感され株価は上昇しました。なかでも、前月に大きく株価を下げたエステローダー(米国、家庭用品・パーソナル用品)やカーニバル・コープ(米国、消費者サービス)などの米国のプレステージ&ラグジュアリー・ブランド企業の上昇率が相対的に高くなりました。

外国為替市場では、米ドルと香港ドルを除く組入れ通貨が対円で上昇したため(円安現地通貨高)、為替レートの変動は基準価額の上昇要因となりました。

7月の主な売買としては、香港の時計小売最大手のヘンダリー・ホールディングス(香港、小売)を新たに組入れ、販売シェア拡大が期待されるティファニー(アメリカ、小売)を買増しました。また、バリュエーション面から判断し、ブルガリ(イタリア、耐久消費財・アパレル)の全保有株式を売却したほか、資生堂(日本、家庭用品・パーソナル用品)、ダイムラー、BMW(ドイツ、自動車・自動車部品)を一部売却し、個別銘柄の組入れ比率の調整を行いました。

## 今後の運用方針

世界経済の減速が懸念され、雇用情勢の悪化から個人消費は弱い動きが続いています。そうした中でも、プレステージ&ラグジュアリー・ブランド企業は中国をはじめとする新興国市場での売上が堅調な伸びをみせており、業績は回復傾向にあります。また、個人消費低迷の影響は、売上の大部分を富裕層が占めるプレステージ&ラグジュアリー・ブランド企業については比較的小さいと見ています。さらに新興国で富裕層や中間所得層が増加傾向にあること、消費の傾向として廉価品志向と高級品志向の二極化が見られることから、高級品需要の伸びは長期的には堅調なものになると予想されます。

引き続き当ファンドのポートフォリオには、耐久消費財・アパレルと消費者サービスセクターを中心に、ブランド力が強く、高品質の製品やサービスを継続的に提供する銘柄や、圧倒的なブランド構築につながる革新的な商品を開発する能力のある銘柄を組み入れる方針です。こうした企業は高い売上成長率と営業利益率、ならびにフリーキャッシュフローを創出する能力を持つという特徴があり、それらが株式のリターンにつながると考えます。

**ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド**

《月次レポート》

愛称:世界のこだわり  
追加型投信/内外/株式

販売用資料

2010年7月30日現在

**主なリスクおよび留意点**

当ファンドは、主として「ING・プレステージ&ラグジュアリー・マザーファンド」を通じて、株式など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではなく、これを割込むこともあります。ファンドの投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

下記は、主なリスク及び留意点であり、当ファンドに係るすべてのリスクを網羅しているわけではありません。詳しくは投資信託説明書(目論見書)でご確認ください。

**○株価変動リスク**

株式の価格は、国内および国際的な政治・経済動向、発行企業の業績、市場の需給関係等によりその価格が変動します。特に、成長性の高い企業や成長性の高い業種については価格変動リスクが大きくなる傾向があります。株式の価格が変動すればファンドの基準価額の変動要因になります。

**○為替変動リスク**

ファンドは、主として外貨建資産に投資を行いますので、為替変動リスクが生じます。ファンドは為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接的に受け、円高になればファンドの基準価額の下落要因になります。

**○信用リスク**

株式の発行企業が債務不履行になった場合、当該企業の株式の価格は大きく値下がりし、または、全く価値のないものになる可能性があります。発行企業の倒産、財務状況・信用状況の悪化等の影響により有価証券の価格が下落するとファンドの基準価額の下落要因になります。

**○流動性リスク**

株式などの有価証券を売買する場合、その相手方が存在しなければ取引が成立しません。特に、発行量の少ない場合や、多くの有価証券が長期保有の意思をもって保有されており流通量が少ない場合等、ファンドが最適と考えるタイミングで売買できない可能性があります。この場合、享受できるべき値上がり益が少なくなったり、または、実勢より低い価格で売却しなければならないケースが考えられ、ファンドの基準価額の下落要因になります。

**○カントリーリスク**

一般に有価証券への投資は、その国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制等の要因によって影響を受けます。そのため、投資対象有価証券の発行国の政治、経済、社会情勢等の変化により、金融・資本市場が混乱し、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難になることがあります。

**○解約資金の流出に伴うリスク**

大量の解約資金を手当てするために保有有価証券等を売却する場合、ファンドの基準価額に影響を与えます。

**○投資対象に係る留意点**

ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行い、ポートフォリオを構築しますので、株価変動、信用、流動性リスクが相対的に大きくなる傾向にあり、株式市場全体の動きと比べファンドの基準価額の動きが大きくなる場合があります。

**○換金性が制限されるリスク**

通常と異なる状況において、ご換金に制限を設けることがあります。取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、ご換金の申込みの受け付けを中止することがあります。



## ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド

《月次レポート》

愛称:世界のこだわり  
追加型投信/内外/株式

販売用資料

2010年7月30日現在

### お客様にご負担いただく費用

#### お客様に直接ご負担いただく費用

##### 申込手数料

お申込日の翌日の基準価額に対して上限3.150% (税抜き3.00%)を乗じた額とします。(注)  
※<自動けいぞく投資コース>を選択された受益者が収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。  
(注)販売会社により異なりますので、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

##### 信託財産留保額

換金時の基準価額に対して0.3%の率を乗じた額とします。

- \* 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。
- \* 詳しくは投資信託説明書(目論見書)の「手数料等および税金」でご確認ください。

#### 保有期間中に間接的にご負担いただく費用

##### 運用管理費用(信託報酬)

保有している期間の純資産総額に対し年率1.575% (税抜き1.50%)。

##### その他の費用

監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等をご負担いただきます。(その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことはできません。)

### お申込メモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
決算と分配	決算日(原則として6月、12月の7日、休日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。
信託設定日	平成18年11月30日
信託期間	無期限
追加信託限度額	2,000億円
お申込日	追加設定の申込は、原則として毎営業日(アムステルダムの銀行休業日の場合を除く)の午後3時まで受付
お申込価額	取得申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込単位	<自動けいぞく投資コース>および<一般コース>ともに取扱販売会社が別途定める単位となります。お申込みになる販売会社によってはどちらか一方のみの取扱となる場合があります。詳しくは販売会社までお問い合わせください。
解約とクローズド期間	クローズド期間はありません。解約申込は、原則として毎営業日(アムステルダムの銀行休業日を除く)の午後3時(わが国の証券取引所が半休日となる場合は午前11時)まで申込を受付けます。解約価額は申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。

### 委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	アイエヌジー投信株式会社(信託財産の運用指図、投資信託説明書(目論見書)および運用報告書の作成等を行います。)
投資顧問会社	アイエヌジー・アセット・マネジメント B.V.(委託会社から運用の指図に関する権限の委託を受け、当ファンドが主要投資対象とする「アイエヌジー・プレステージ&ラグジュアリー・マザーファンド」の運用指図を行います。)
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(信託財産の保管・管理業務等を行います。)
取扱販売会社	募集・販売の取扱い、一部解約実行の請求の受付、収益分配金の再投資、収益分配金・償還金・一部解約金の支払い等を行います。

お問合せ先	アイエヌジー投信株式会社 金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長(金商)第 300号 加入協会: 社団法人投資信託協会 社団法人日本証券投資顧問業協会 日本証券業協会 <ホームページ> <a href="http://www.ingfunds.co.jp">http://www.ingfunds.co.jp</a> <電話> 03-5210-0653
-------	---



# ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド

《月次レポート》

愛称:世界のこだわり  
追加型投信/内外/株式

販売用資料

2010年7月30日現在

## 取扱販売会社一覧 (50音順)

取扱販売会社名		登録番号	加入協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会
コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	日本証券業協会 社団法人日本証券投資顧問業協会 社団法人金融先物取引業協会
スタンダードチャータード銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第604号	日本証券業協会
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	日本証券業協会
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	日本証券業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会

本資料は、アイエヌジー投信株式会社(以下「当社」)が作成した販売用資料です。金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断下さい。当ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)は、取扱販売会社にて提供します。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。従って元本は保証されておりません。なお、当ファンドが主として投資を行うマザーファンドは外貨建資産を組入れますので、運用実績は為替相場変動の影響も受けます。投資信託は、預金等や保険契約と異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源から入手した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。本資料に記載されている個別企業、個別有価証券等は、説明のための例示であり、いかなる有価証券の売買、勧誘、または特定銘柄の推奨を意図したものではありません。また、一般的または特定の投資助言を行うものではありません。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。